

- 問1 1989年に冷戦の終結が宣言された後、国際社会は新たな秩序を模索し始めました。そのような状況下で、1990年にイラクがクウェートに侵攻したことをきっかけとして、1991年にアメリカを中心とする多国軍が派遣され勃発した紛争の名称を選びなさい。(2019年 千葉県公立入試 類似)
- 湾岸戦争
  - ベトナム戦争
  - イラン・イラク戦争
  - アフガニスタン戦争
- 問2 1949年の中華人民共和国建国以降の国際的な出来事を、古い順に正しく並べたものはどれですか。(2021年 千葉県公立入試 類似)
- アジア・アフリカ会議 → 日韓基本条約 → ドイツ統一 → 香港返還
  - 日韓基本条約 → アジア・アフリカ会議 → 香港返還 → ドイツ統一
  - ドイツ統一 → 日韓基本条約 → 香港返還 → アジア・アフリカ会議
  - アジア・アフリカ会議 → 香港返還 → 日韓基本条約 → ドイツ統一
- 問3 欧州連合 (EU) が結成された背景や、その目的について正しく説明しているものはどれですか。(2024年 山形公立入試 類似)
- ヨーロッパ諸国が経済的な結びつきを強めるだけでなく、共通の外交や安全保障政策を推進し、国際社会での影響力を高めるため。
  - アメリカとソ連の冷戦構造の中で、西ヨーロッパ諸国が独自の軍事同盟を組む、核兵器の共同開発を行うため。
  - アジアやアフリカの植民地を維持するために、ヨーロッパ各国の軍隊を統合して管理することを目的としたため。
  - 世界恐慌への対策として、自国の産業を守るために周辺諸国への関税を大幅に引き上げるブロック経済を構築するため。
- 問4 1930年代の日本では生糸や綿織物といった軽工業製品が輸出の中心でしたが、1970年代には鉄鋼や自動車を主力とする重化学工業へと産業構造が転換しました。この時期に日本が行っていた、海外から原油や鉄鉱石などの原料・燃料を輸入し、国内で工業製品に製造して輸出する貿易の形態を何と呼びますか。(2021年 徳島公立入試 類似)
- 加工貿易
  - 自由貿易
  - 中継貿易
  - 保護貿易
- 問5 2019年に施行された「アイヌ民族支援法」では、独自の文化である古式舞踊などを受け継いできたアイヌ民族について、法律上初めてどのような存在であると明記されたか。(2022年 青森県公立入試 類似)
- 先住民族
  - 少数民族
  - 渡来民族
  - 狩猟採集民族
- 問6 1992年に成立したPKO協力法 (国際平和協力法) に基づき、自衛隊が国連の平和維持活動として初めて派遣された国はどこですか。(2021年 佐賀公立入試 類似)
- カンボジア
  - 南スーダン
  - ゴラン高原
  - 東ティモール
- 問7 日本の生活文化の変遷を説明した資料において、1950年代半ばから1970年代前半にかけて、人々の生活を大きく変えた要因として最も適切な説明を一つ選びなさい。(2020年 和歌山公立入試 類似)
- 高度経済成長によって、テレビや冷蔵庫などの家電製品が急速に普及した。
  - 文明開化の影響により、太陽暦が採用され一日の時間の使い方が変化した。
  - 大衆文化が発展し、初めてのラジオ放送が行われニュースが即座に伝わるようになった。
  - 戦時体制の強化により、物資の自由な売買が制限され配給制が一般的になった。
- 問8 1930年代後半、日中戦争が長期化する中で制定された「国家総動員法」の目的と、その内容についての説明として最も適切なものを選びなさい。(2021年 東京都公立入試 類似)
- 議会の承認なしに、戦争遂行のために必要な人的・物的資源を政府が統制・動員すること。
  - 地主から土地を買い上げて小作人に安く売り渡し、自作農を増やして社会を安定させること。
  - 教育の機会均等を実現し、個人の尊厳を重んじる民主的な教育制度を確立すること。
  - 企業の生産活動によって発生する大気汚染や水質汚濁に対し、企業の社会的責任を明確にすること。
- 問9 冷戦終結に関連する一連の出来事をまとめた記録において、1989年の東欧民主化や冷戦終結宣言のあと、1990年に実現した、分断されていた国家が再び一つになった出来事はどれですか。(2023年 奈良公立入試 類似)
- ドイツの統一
  - ソビエト連邦の解体
  - ベルリンの壁の建設
  - キューバ危機の発生
- 問10 1989年のマルタ会談などを経て「冷戦の終結」が宣言された時期の、日本の外交や国際貢献に関する記述として最も適切なものを次の中から選びなさい。(2017年 秋田県公立入試 類似)
- 国際社会の平和維持活動に貢献するため、国際平和協力法を制定して自衛隊を海外に派遣した。
  - 朝鮮戦争の勃発を受けて、国内の治安維持を目的に警察予備隊を設置し、防衛力の整備を始めた。
  - 社会主義思想の広がりを抑えるために、治安維持法を改正して結社や運動の取り締まりを強化した。
  - サンフランシスコ平和条約に調印すると同時に日米安全保障条約を結び、主権を回復した。
- 問11 琉球の伝統的な染色技法である「紅型」のデザインを、現代の生活に関連付けて活用する取り組みについて述べた文として、正しいものはどれですか。(2024年 群馬公立入試 類似)
- 伝統文化の価値を再認識し、現代の生活用品のデザインに応用することで、新しい価値の創造を目指している。
  - 伝統文化の保存のみを目的としており、現代の製品にデザインを流用することは厳しく制限されている。
  - 伝統的な紅型のデザインは、現代の工業製品には適さないため、主に観光客向けのパンフレットのみで使用されている。
  - 古い文化を完全に捨て去り、海外の新しいデザインを導入することで、琉球独自の文化を現代風に上書きしている。
- 問12 鎌倉時代において、守護の職務を「謀反人の逮捕」や「殺人者の逮捕」など (大犯三力条) に限定し、武士の慣習に基づいて裁判の基準を明確にするために制定された法令は何か。(2024年 北海道公立入試 類似)
- 御成敗式目
  - 武家諸法度
  - 十七条の憲法
  - 班田収授法
- 問13 1991年に起こったソビエト連邦 (ソ連) の解体と、その後の国際社会への影響について述べた文として、正しいものはどれか。(2019年 三重公立入試 類似)
- 連邦を構成していた各共和国が独立国家となり、次々と国際連合に加盟した。
  - 東西に分断されていたドイツが、一つの主権国家として統合された。
  - 東ヨーロッパの社会主義諸国が、ソ連を中心とする軍事同盟を強化した。
  - 冷戦が終結したことで、ユーラシア大陸からすべての国境線が消滅した。

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 湾岸戦争	1991年の湾岸戦争は、冷戦が終結したことで米ソが協調できる体制が整い、国連の決議に基づいて多国籍軍が編成された最初の大きな軍事行動でした。冷戦後の世界では、大国間の全面戦争の脅威は低下したものの、中東などの地域で根深い対立が表面化し、新たな紛争が相次ぐことになりました。
問2	答え 1 アジア・アフリカ会議 → 日韓基本条約 → ドイツ統一 → 香港返還	アジア・アフリカ会議は1955年、日韓基本条約の締結は1965年、ドイツの統一は1990年、香港の返還は1997年という順序で起こりました。これらはアジア諸国の自立、日本の戦後外交の進展、そして冷戦の終結とその後の秩序の変化を示す象徴的な出来事です。
問3	答え 1 ヨーロッパ諸国が経済的な結びつきを強めるだけでなく、共通の外交や安全保障政策を推進し、国際社会での影響力を高めるため。	欧州連合（EU）は、単なる経済的な市場統合にとどまらず、ヨーロッパ全体を一つの大きな単位としてまとめることを目指しています。共通通貨「ユーロ」の導入や、国境を越えた人の移動の自由化を通じて経済を活性化させると同時に、政治的にも協力することで、国際社会においてアメリカや中国などの大国に対抗できる発言力を確保するという目的があります。
問4	答え 1 加工貿易	第二次世界大戦後の日本は、高度経済成長期を通じて産業の中心を繊維工業などの軽工業から重化学工業へと移しました。資源の少ない日本は、海外から原材料を安く輸入し、国内の工場で高い技術力を用いて付加価値を付けた製品を輸出することで経済を発展させました。この仕組みを加工貿易と呼びます。
問5	答え 1 先住民族	2019年（平成31年/令和元年）に施行された「アイヌ民族支援法（アイヌ施策推進法）」では、その第1条においてアイヌの人々を「先住民族」とであると明記しました。これまで政府はアイヌ民族を「独自の文化を持つ少数民族」として扱ってきましたが、この法律によって初めて法的に先住民族としての地位が確立されました。
問6	答え 1 カンボジア	長年続いた内戦を終結させるため、国連カンボジア暫定統治機構（UNTAC）が設置されました。日本はこの活動を支援するため、PKO協力法に基づいて初めて自衛隊の施設部隊などを派遣し、道路の補修や選挙の監視業務などに携わりました。
問7	答え 1 高度経済成長によって、テレビや冷蔵庫などの家電製品が急速に普及した。	1950年代半ばから1970年代初頭にかけての日本は高度経済成長期と呼ばれ、国民の所得が増加しました。この時期には「三種の神器」（白黒テレビ、洗濯機、冷蔵庫）や、その後の「3C」（カラーテレビ、クーラー、カー）といった家電製品が一般家庭に普及し、家事の負担軽減や娯楽の多様化など、生活様式に劇的な変化をもたらしました。
問8	答え 1 議会の承認なしに、戦争遂行のために必要な人的・物的資源を政府が統制・動員すること。	1938年に制定された国家総動員法は、戦争のために国全体の力を集中させる「総力戦体制」を構築することが目的でした。この法律により、政府は帝国議会の審議を経ることなく、国民を徴用したり、物資の生産や配分を統制したりする強大な権限を持つようになりました。
問9	答え 1 ドイツの統一	1989年11月に東西冷戦の象徴であった「ベルリンの壁」が崩壊したことを受け、翌1990年には資本主義体制の西ドイツが社会主義体制の東ドイツを吸収する形でドイツ統一が果たされました。これはヨーロッパにおける冷戦構造が消滅したことを象徴する出来事です。
問10	答え 1 国際社会の平和維持活動に貢献するため、国際平和協力法を制定して自衛隊を海外に派遣した。	冷戦が終わり、国際社会が協調して紛争解決に取り組む必要性が高まったことが背景にあります。1990年の湾岸戦争での経験から、日本は人的な貢献を重視するようになり、1992年に国際平和協力法（PKO協力法）が制定されました。警察予備隊の設置は1950年の朝鮮戦争時、治安維持法は戦前の1925年、日米安全保障条約は1951年の出来事であり、いずれも冷戦終結期の動きではありません。
問11	答え 1 伝統文化の価値を再認識し、現代の生活用品のデザインに応用することで、新しい価値の創造を目指している。	琉球文化のルネサンスは、伝統文化の価値を現代の視点で再評価する取り組みです。具体的には、伝統的な紅型の紋様をタンブラーやエプロンといった実用的な製品のデザインに採用するなどの事例があります。これにより、伝統が過去の遺物になるのを防ぎ、現代社会の中で新しい役割や魅力を発揮できるよう工夫されています。
問12	答え 1 御成敗式目	北条泰時が、御家人たち間で増えていた領地争いを公平に解決するために定めた、日本で最初の武士のための法律です。それまでの貴族の法とは異なり、武士社会の道徳や慣習が反映されています。
問13	答え 1 連邦を構成していた各共和国が独立国家となり、次々と国際連合に加盟した。	ソ連の解体は冷戦終結を象徴する出来事であり、それまで連邦の一部であった各共和国は主権を持つ独立国家となりました。これらの新国家が国際連合へ加盟したことで、国際社会における国家数は大幅に増加し、現代の国際秩序が形成される大きな節目となりました。なお、ドイツの統一やベルリンの壁崩壊はソ連解体に先立って起こった関連事象ですが、直接の「解体による変化」とは区別する必要があります。